

編集後記

■編集委員

委員長

藤田郁代

副委員長

立石雅子

阿部晶子

今井智子

石坂郁代

内田信也

宇野彰

勝木準

倉内紀子

倉智雅子

佐藤睦子

椎名英貴

城間将江

鈴木恵子

玉井ふみ

中村光一

長谷川賢一

春原則子

深浦順一

藤原百合

水田秀子

矢守麻奈

■英文要旨の校閲

Gordon BATESON

勝木準

今冬、関東地方では少雨傾向でしたが、ようやく芽起こしの雨が降るようになり、春の近さを感じる候となりました。

本誌は年々、投稿論文数が伸び、内容が充実してきていますので、今回はこれを支えている査読システムについて簡単にご紹介したいと思います。本誌では、1編の論文の査読を2名が担当しており、査読者は編集委員21名と査読委員23名の中から専門領域(成人言語・認知、小児言語・認知、聴覚、発声発語・摂食嚥下)を考慮して選定されます。査読者には、公平で建設的な査読ができること、高い専門的知識と確かな研究技法を身に付けていることが求められますので、論文のピア・レビューを受ける経験を何度も経験し、研究・臨床実績を積まれた方をお願いしています。査読の観点は、研究の倫理性、知見の新規性、研究方法の適切性、論理の明瞭性、論文の形式などで、査読項目があらかじめ設定されています。本誌では、査読者の判定が大幅に分かれた場合、第3査読者に査読を依頼します。これによって論文の最終判定の時期が遅れてしまいますが、査読の公平性を保つことを優先しています。現在、下記の方々に査読委員をお願いしています。

今号には、第19回日本言語聴覚学会における石合純夫先生の講演「言語の神経ネットワーク論と失語症の臨床経過」が掲載されています。近年、言語の脳内基盤に関する研究は古典的な局在論から神経ネットワーク論へとシフトしてきており、この論文ではその最新の知見と臨床への適用が明解に解説されており、興味深く読んでいただけるものと思います。ほかに、第9回言語聴覚研究優秀論文賞を受賞された方の随想、シンポジウム「摂食嚥下障害領域における姿勢調整の検証」の講演内容の論文、拙劣症を呈した症例の報告が掲載されており、言語聴覚障害学の理論・技術の進歩を実感していただける内容となっています。

(藤田郁代)

査読委員(50音順、敬称略)：青木さつき、安立多恵子、飯干紀代子、稲本陽子、植田恵、内山千鶴子、井上理絵、大伴潔、小淵千絵、兼岡麻子、荻安誠、菅野倫子、小嶋知幸、後藤多賀志、小林宏明、城本修、能登谷晶子、原由紀、原島恒夫、原田浩美、藤原加奈江、前新直志、安田菜緒

言語聴覚研究(第16巻 第1号) 2019年3月15日発行[年4回(3, 6, 9, 12月)15日発行]

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

1部定価：本体2,000円＋税

2019年年間購読料：本体7,407円＋税(4冊、送料発売会社負担)

編集・発行：一般社団法人日本言語聴覚士協会(会長：深浦順一)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京9階

(☎03-6280-7628 FAX 03-6280-7629) <http://www.jaslhtr.or.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Acropolis Tokyo 9F, 6-29 Shinogawamachi, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0814, Japan

©2019, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 俊) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

☎113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036(FAX 03-3817-8044)